

## 過敏性腸症候群患者の小腸・大腸粘膜に対する特殊光を用いた内視鏡所見の検討

2021年から2024年までに過敏性腸症候群と診断され、下部消化管内視鏡検査を受けた患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「過敏性腸症候群患者の小腸・大腸粘膜に対する特殊光を用いた内視鏡所見の検討」という研究を行います。この研究は、2021年2月1日より2024年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科にて、過敏性腸症候群と診断され、下部消化管内視鏡検査を受けた患者さん臨床的特徴と血液検査、内視鏡所見、組織所見を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

#### (1) 研究の概要について

研究課題名：過敏性腸症候群患者の小腸・大腸粘膜に対する特殊光を用いた内視鏡所見の検討

研究期間：2021年2月1日～2024年3月31日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科 植木 信江

#### (2) 研究の意義、目的について

胃の粘膜表面に留まっている腫瘍は、内視鏡で取り除くことができます（内視鏡的粘膜下層剥離術）。内視鏡治療の治療成績、有効性、合併症、予後を明らかにすることを目的とします。

#### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年2月1日～2024年3月31日までに日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科にて下部消化管内視鏡検査を受けられた患者さんの臨床的特徴、血液検査、内視鏡所見、組織所見などの比較検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：血液検査、組織検査

情報：年齢、性別、臨床症状、血液検査、内視鏡の炎症所見、病理結果 等

#### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

#### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

#### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 消化器内科 病院講師 植木 信江

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：2931